

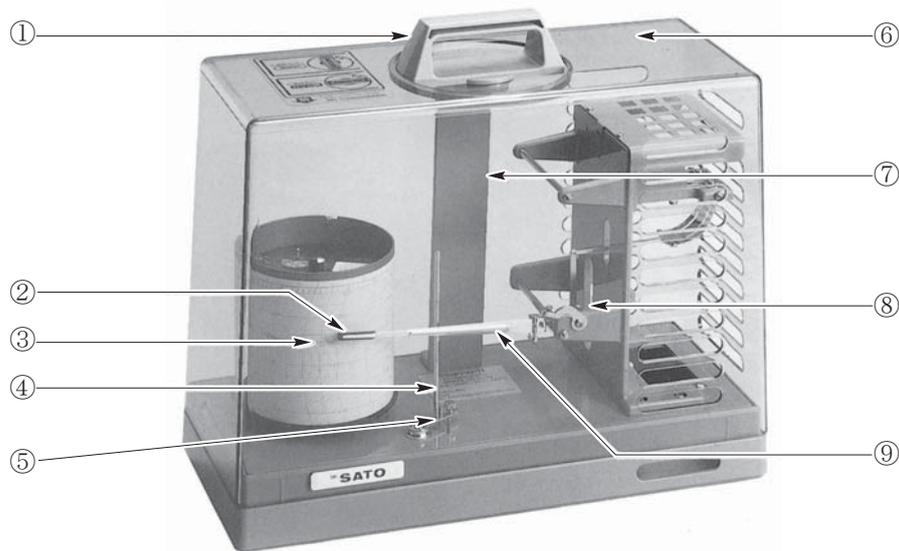
Sigma-II 温度記録計

シグマ II 型

- このたびは、シグマII温度記録計をお買いあげいただきありがとうございました。
- この商品は屋内の温度の値を記録し、又現在の温度の値を読み取るためのものです。それ以外のご使用はしないでください。
- ご使用前には必ず取扱説明書(ご使用方法・注意事項等)をお読みになり大切に保存してください。

●各部の名称

1. キャリングハンドル
2. カートリッジペン
3. 円筒 時計機能内蔵
4. ペンハネ支柱
5. ペンハネレバー
6. アクリルカバー
7. ハンドルロック支柱
8. 温度微調整ネジ
9. ペンアーム



取扱説明書

SK SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.

はじめに

この製品は厳正な検査、梱包のうえ出荷していますが、精密機械のため輸送途中の落下また、過度の衝撃などにより指示値がずれる事があります。このため開梱、セット完了後安定した雰囲気(温度変化の少ない場所)に1時間以上置いて、お手持ちの温度計の値と比較し、指示値が精度範囲内であることを確認してください。指示値が精度範囲以上にずれている場合はP.3示度の調整に従ってください。なお、ご不明の点は弊社サービスネットワーク迄ご連絡ください。



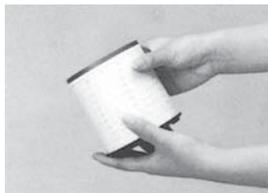
5 ツマミを外側に引くとフタが開き、閉める時もつまみを引きながらフタを閉じてつまみを離してください。



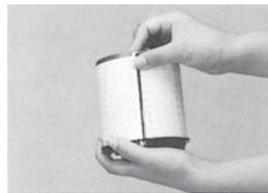
6 電池の⊕⊖に注意し、円筒時計に確実に入れる。そして、電池がたを閉じる。



7 記録紙押え金具をはずす。



8 記録紙を交換する(補足説明参照)
※現在は、新品出荷製品の円筒には記録紙を添付しておりません。



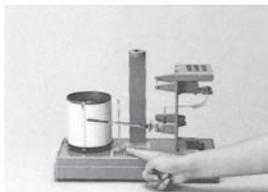
9 記録紙押え金具を取り付ける。



12 ペンアーム止め紙テープを切つてはずす。



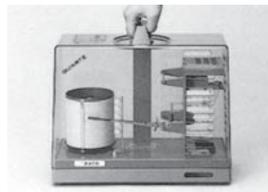
13 カートリッジペンのキャップを左に回しながらはずす。



14 ペンハネレバーを向こう側に、止まるまで押す。

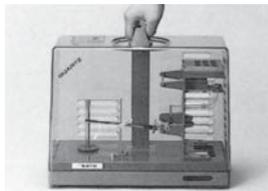


15 時間を合わせる(補足説明参照)

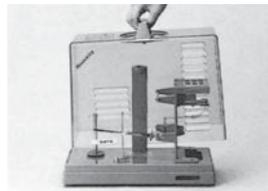


16 キャリングハンドルを、正面にまっすぐ向けて、アクリルカバーは、SK SATOのプレートが前にくるように取り付ける。

●ご使用方法 開梱後の手順)



1 キャリングハンドルを左に、止まるまで回す。



2 そのまま持ち上げて、アクリルカバーをはずす。

●使用方法の補足説明

1：アクリルカバーをははずす。(写真No1～2)

2：電池を入れる。(写真No5～6)

3：円筒の記録紙を交換する。(写真No7～11)

- ・記録紙を円筒に巻く時は、スタート側の端を下にして重ね合わせてください。
- ・重ね目を円筒時計上部の記録紙押えの位置に合わせてください。
- ・記録紙の下端は円筒のつばにきちんと合わせてください。

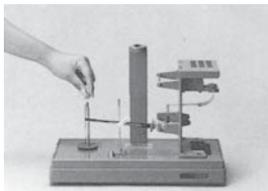
4：カートリッジペンのキャップをははずす。(写真No12～13)

5：時間を合わせる。(写真No14～15)

- ・円筒を初めに右に回し、現在時刻より1～2時間進んだ時刻の位置で止めます。
 - ・次にもどしながら現在時刻に合わせます。
- こうすると歯車の遊びが無くなり、正しく時間を合わせることができます。
手順をまちがえますと時間誤差の原因となりますのでご注意ください。
- ・アクリルカバーの取付け(写真No16～17)



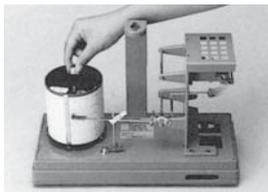
3 ペン上げツマミを手前に、止まるまで引く。



4 円筒押えネジをははずす。



10 円筒時計を取り付ける。



11 円筒押えネジを取り付ける。



17 キャリングハンドルを右に、止まるまで回す。

● 注意事項

1. 乾電池の取扱い

乾電池による液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- ・電池は単2乾電池(1.5V)2本を使用し⊕⊖を間違えない様に電池ケースに入れてください。
- ・電池は1年毎に新品と交換してください。一度に全部お取替えください。新しい電池と古い電池、またマンガン電池やアルカリ電池のように、種類が違う電池も混ぜて使用しないでください。
- ・ショートさせないでください。
- ・火中への投入、加熱、分解をしないでください。
- ・充電しないでください。

万一液もれした場合

液をよくふき取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流してください。

2. カートリッジペンの交換

- (1) ペンハネレバーを手前に止まるまで引く。
- (2) カートリッジペンを取り外す時は各ペンアーム②、⑩をつまみ、カートリッジペンを矢印の方向に引き抜いてください。(図1)
- (3) カートリッジペンを取り付ける時は、ペンアームがカートリッジペン溝先端のストッパーに当たるまで差し込んでください。

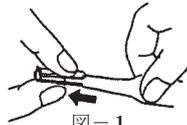


図-1

ペン先に指を触れない様に注意してく

ださい。(脂肪分が付着するとインクの出が悪くなります。)

カートリッジペンは連続約6ヶ月(7日巻)使用できますが使用環境

- ・条件により持続時間が短くなることもあります。
- 弊社専用のカートリッジペン以外は使用しないでください。

3. 記録紙の交換

- ・記録紙を円筒に巻く時はゆるみ、斜め、上下逆、重ね部分のすれ

に注意してください。

弊社専用の記録紙以外は使用しないでください。

4. 本体の持ち運び

キャリングハンドルを持って本体を移動するときは、ロックされていることを確認してください。

●設置場所注意事項

以下の場合には指示と記録誤差の原因になります。

- ・振動、衝撃、傾斜のある場所でのご使用。
- ・屋外でのご使用。(但し、百葉箱の中では可能です)
- ・直接冷暖房器具の吹き出し口、直接日光の当たる場所等でのご使用。
- ・油煙、ホコリの多い場所でのご使用。
- ・本体カバーの通気孔をふさいでのご使用。
- ・本体に直接水が掛かる場所でのご使用。
- ・腐食性ガスの雰囲気下でのご使用。

●その他の注意事項

- ・温度の測定範囲外でのご使用は絶対にしないでください。
- ・防水等の目的で本体全体をビニール等で覆うと正しい値がはかれません。
- ・本体を分解改造しないでください。故障の原因になります。
- ・輸送時は必ず電池を取りはずしてください。

●示度の調整

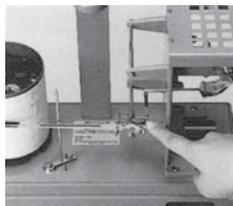
示度の微調整ができますが、必要なとき以外のご使用は避けてください。微調整を行なう場合は、ペンアームの元にある微調整ネジを、右に回すと示度は低くなり、左に回すと高くなります。

(一) ドライバーを使うと、より正確に、スムーズに合わせることができます(A参照)(MAX温度±3℃)

1年に1度は定期的に弊社へ校正依頼を行なう事をおすすめします。
(有償)

- 調整する場合は、測定場所に1時間以上置いてから、信頼できる計器に合わせて調整してください。

(微調整)



A

● 電池の入れ方

- 電池ケースの開閉方法
- ツマミを外側に引くとフタが開きます。閉める時もツマミを外側に引いて押しますと閉ります。

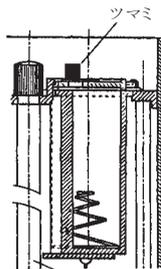


図-1

● 円筒上部の説明

- 円筒上部の名称

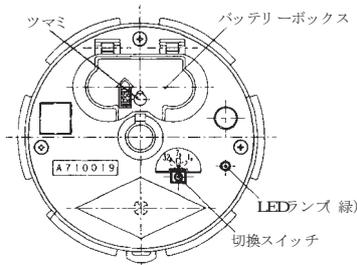


図-2

- 作動確認
電池を入れると直ちに作動します。
図-2の「LEDランプ」が点滅していることを確認してください。

- バッテリー状態の目安
LEDランプ(緑)点滅の基準は次の通りです。
DC2.2V \pm 10%以下で消灯します。(常温、常湿の場合)
LEDランプ消灯後はすみやかに新品の乾電池と交換してください。

ご参考

LEDランプ消灯後 約1ヶ月前後で円筒時計は停止いたします。
(常温、常湿の場合)

● 日付切替スイッチの説明

工場出荷時の切替スイッチは7日用に設定されています。
1日用、または32日用としてご使用になる場合、円筒上部の切替スイッチを1日、あるいは32日に設定してください。(図-3)



図-3 切替スイッチ

この場合1日用、32日用の記録紙を別途購入し、交換してください。

消耗品	7230-60	1日用記録用紙(400枚×1箱)
	7230-62	7日用記録用紙(55枚×1箱) (7日用は付属品として本体に1箱付いています。)
	7230-64	32日用記録用紙(55枚×1箱)
	7238-04	カートリッジペン(紫)(1本)

●仕 様

製 品 区 分	温度記録計
製 品 名	シグマII
製 品 番 号	No.7230-00(クォーツ式)
温 度 セ ン サ	バイメタル
測 定 範 囲	-15~+40℃
記 録 方 式	連続ペン書き記録
目 量	1℃(最小目盛)
測 定 精 度	±1℃(10~30℃、その他は±2℃)
記 録 紙 時 計 駆 動	クォーツ式1.7.32日切替え(4MHz 発振)
円筒時間精度	±5分/1日 ±35分/7日 ±160分/32日
電 源	単2形マンガン乾電池2ヶ (R14P)約1年間(7日の場合)
保存環境条件	0~40℃、20~80%結露なき事
記 録 ペ ン	カートリッジペン(水性)、色(紫)
重 量	約2.9kg
寸 法	幅(W)336×高さ(H)295×奥行(D)148mm
付 属 品	取扱説明書(保証書付) 単2形マンガン乾電池×2本 記録紙・7日間用55枚入×1冊 記録紙保管用バインダー×1冊

※仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

●オプション仕様

- ・外部取り付けファンモーター
外気を積極的に本体内に導入
します。空気還流の少ない場
所でのご使用をお勧めします。



サービスネットワーク

- 本 社 東京都千代田区神田西福田町3 〒101-0037
TEL 03-3254-8111 FAX 03-3254-8119
- 本 社 営 業 部 東京都千代田区神田西福田町3 〒101-0037
TEL 03-3254-8111 FAX 03-3254-8119
- 東 京 営 業 所 東京都板橋区南常盤台2-9-18 〒174-0072
TEL 03-3958-2351 FAX 03-3957-5986
- 大 阪 支 社 大阪市中央区内平野町2-1-10 〒540-0037
TEL 06-6944-0921 FAX 06-6944-0926
- 札 幌 営 業 所 札幌市北区北20条西4-2-17 〒001-0020
TEL 011-758-0051 FAX 011-758-0065
- 仙 台 営 業 所 宮城県柴田郡村田町西ヶ丘25-1 〒989-1304
TEL 0224-83-4781 FAX 0224-83-4770
- 名 古 屋 営 業 所 名古屋市中区大須1-3-16 〒460-0011
TEL 052-204-1234 FAX 052-204-1123
- 富 山 営 業 所 富山県富山市二口町5-2-3 〒939-8211
TEL 076-494-3088 FAX 076-494-3090
- 福 岡 営 業 所 福岡市博多区博多駅前4-18-26 〒812-0011
TEL 092-451-1685 FAX 092-451-1688

〈保証規定〉

- ①説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買いあげ後1年間、無償で修理、又は交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- ②修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えて、お買いあげ店または、当社もよりの営業所へご持参またはご送付ください。
- ③保証期間でも次の場合は有償修理になります。
 - イ. 誤用・乱用および取り扱い不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項(お買いあげ日、販売店名等)の記入がない場合
- ④本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので、大切に保存してください。

品質保証書

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印欄所にご記入の上本器の最終御使用者のお手許に保管をしてください。

品名 シグマII型 温度記録計

※ご芳名

※ご住所

TEL ()

●以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいでください。

お買いあげ店名

印

ご住所

TEL ()

お買いあげ年月日 年 月 日

SK 株式会社 佐藤計量器製作所

〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地

☎ 03-3254-8111 (大代) FAX番号 03-3254-8119

SK 株式会社 佐藤計量器製作所

〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地

TEL 03-3254-8111 (大代表)

【ご使用上の注意】

※対象製品・シグマⅡ温湿度計・温度計・湿度計・気圧計、キューブ、スター開梱時に
下記の手順で円筒下部の白パッキン(PE)及びペンアーム止め金具、紙テープ、カム
押えダンボールを取りはずしてください。

- 1：本体のカバーを取りはずしてください。
- 2：円筒軸上部のナットを反時計方向に手で回してはずしてください。
- 3：円筒を上引き抜いてください。
- 4：本体ベース上に振れ止め防止用の白パッキン(PE)が2個ありますので
それを取り外してください。(パッキンは大切に保管してください。
本体の移動時に再利用してください)
- 5：ペンアーム止め金具及び紙テープ、カム押さえダンボールを取りはずしてください。
- 6：円筒にチャート紙を取り付けて、円筒軸に差し込んでください。この時、
円筒と軸のギヤが噛み合うように円筒を回転させて取り付けてください。
- 7：円筒軸のナットを取り付けてください。

(株) 佐藤計量器製作所
東京工場 品質保証課